

景況レポート・5月

5月の県内景況は、前月に引き続き、円安の影響による燃料費・原料費の高騰等の声があがる。

情報連絡員による平成25年5月の県内中小企業の景況は、業界全体として「低調」とするところが36.7%（前月比-1.7）、「横這い」は43.3%（同+10.0）、「好況」は20.0%（同-8.3）となっており、業界全体の「景況感DI」は-16.7（同-6.7）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

- ◇「売上高」「販売価格」「取引条件」「資金繰り」が前月と比較して減少しています。
- ◇「収益状況」が前月と比較し大幅に改善しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、木材木製品製造業、その他の製造業、サービス業、建設業は「快晴」または「晴れ」、繊維製品製造業、鉄工機械製造業は「薄曇り」または「曇り」、その他の業種は「雨」または「大雨」となっています。

※DI値 +30以上「快晴」 +10～+30未満「晴れ」 -10～+10未満「薄曇り」
 -30～-10未満「曇り」 -50～-30未満「雨」 -50以上「大雨」

3. 個別の報告の概要

- ◇食品製造業、木材・木製品製造業より、円安による原材料高騰等の影響について報告があります。
- ◇運輸業より、人手不足による影響について前月に引き続き報告があります。

来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が26.7%（前月比+6.7）と増加しております（好転の回答0件、やや好転の回答16件）（製造業7、非製造業9）。また、やや悪化、悪化の見込みは、23.3%（前月比+1.6）と増加しております。変わらないが、50.0%（前月比-8.3）と減少しております。

平成25年5月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100.0%）

木材・木製品製造業

<製材業>

今後円安による外材の値上がりが予想される中で国産材への指向がますます強まると思われる。このような状況の下、前月同様製材品の取引は活発で順調に推移している。一方、原木丸太の出材は農繁期に入り、素材生産者が山に入る機会が少なくなっていることなどから徐々に減少してきている。

<外材輸入>

新設住宅着工数は持ち家を中心に順調に推移しており、製品価格も上昇し市場に受け入れられているが、踊り場に差し掛かっており6月以降さらなる値上げが必要となってくるが市場に受け入れられるかが不透明である。

<木工団地>

円安にて仕入れ、経費（油等）が上がっている。これは消費税かけ込みにもよるものと思われる。

<木工家具>

原材料の価格上昇の他、諸物価の上昇から製造原価が上がり、10%～20%の値上がりの状況。4月ごろより価格改定メーカーがあり、7月にはほとんどのメーカーが価格改定に入る。※販売価格上昇の後、来年4月の消費税アップ後の販売状況が心配です。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、新年度に入って二カ月を推移しているが、引き合い物件も若干あるものの、先行きは依然として不透明となっており売上高・収益状況は前月同様、厳しい感が否めない。

繊維・同製品製造業

<ニット>

秋冬物の受注が入りつつあり、各社ともフル回転に近い状況になってきている。

<縫製品>

夏物の追加発注がほとんどなく、夏物の生産も5月中旬で終了し、秋冬物の生産に入るところが目立っている。しかし秋冬物の生産の準備が遅れており、休みを増やしているところが目立ちます。

紙・紙加工品製造業

<紙器段ボール箱>

地域の中には企業を取り巻く経営環境が一層の厳しさを増すなか、地域の顧客との関係を徹底的に強化することで、価格競争に陥ることなく、顧客のニーズに合致したサービスを継続的に提供し地域社会から愛される経営を実践している企業が存在する。このような企業で行われている従業員の意欲と能力を最大限に引き出し、地域社会と関わりを大切にしながら「サービスを提供する経営」と「おもてなし経営」こそ地域のサービス事業者が目指すビジネスモデルの一つとして普及を図っていきたい。

印刷業

<印刷>

夏場に向けた需要は期待するものの先行き受注が弱含みの見通しです。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

売り上げはあまりかわらない。毎年6月は5月と比して少し減少する。

<砕石>（県北地区）

1. 当月売上高の前月比 約4%の増
2. 当月売上高の昨年同月比 約83%の増
3. 全数量の昨年対比 約71%の増
4. 原因・状況 前月に引き続き、放射能除染工事等への出荷で増となった。

<生コン>

平成25年5月の組合員生コン出荷数量は、146,157㎡と対前年同月比36.9%の増。東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等補修工事での増加が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比0.7%の減、官公需が64.9%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 0.7%の減

①対前年同月比増加地区

<白河地区> 26.4%の増

工場、店舗新築工事等

<いわき地区> 6.9%の増

工場の新築工事等

<相双地区> 84.9%の増

原発保安対策工事、常磐道工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 5.1%の減

飯坂クリーンサイト第2期処分場等

<県中地区> 27.9%の減

新ポラリス保健看護学院移転新築工事等

<会津地区> 11.8%の減

民間住宅工事等

■官公需の動向

対前年同月比 64.9%の増

①対前年同月比増加地区

<県中地区> 56.4%の増

再生可能エネルギー研究所工事、三春バイパス橋梁整備工事等

<白河地区> 16.4%の増

県営、市営住宅災害復旧工事

<いわき地区> 293.9%の増

小名浜港7号追悼地区岸壁復旧工事、小名浜西防波堤工事等

<相双地区> 108.3%の増

海岸保全施設整備工事、相馬港災害復旧工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 10.6%の減

栗子トンネル工事、東北道福島JCT工事等

<会津地区> 34.3%の減

只見地区道路・橋梁復旧工事等

食品製造業

<漬物>

円安が続き、原料、包装資材等の仕入れが値上りになっており、末端売価は価格競争で大変厳しい状況にあるが、会津地区はTVの影響で良いと思われる。

<パン>

5月に組合の総会を開催。震災および原発事故による避難児童数も下止まりし、過去2年に比較すれば平穏な一年であったが震災前の児童数には未だ戻らず、避難地域で操業困難な組合員もいるなど、経営環境が改善していない状況に変化はない。組合としての収入は対前年度比0.5%の減であった。

<味噌醤油>

相変わらず組合員全体の業況は低迷し続けている。風評被害が想定以上に厳しい現実です。原発前の取引先との再取引が回復されない状況が依然として続いており売り上げが伸びず深刻です。円安により主原料を外国産に依存せざるを得ない現状において原料の高騰などもあり、売上減と製造コストアップの二重三重の厳しい現状。

<乾麺>

天候不順で低調。1～3月第一四半期金額ベースの生産量103.4%。うどん・そうめんの生産量は減っているが、蕎麦の回復の兆しが見える（116%）。北海道の玄そばがダブついているため、北海道産玄そば45kg5,000～8,000円と値を下げた。輸入品は頭打ち傾向、中国産4,000～4,500円。

<酒造>

資材・原材料の価格高騰により、商品価格の値上げを検討している組合員がいる。ただ出荷数量が落ちているため、慎重な組合員も多数いる。

<食品団地>

観光イベント等が回復しつつあり、天候にも恵まれ前年同月比の売上は増加した。一方で、原材料の値上がりが続く、収益は厳しい状況である。

小売業

<共同店舗>

（県中地区のNショッピングセンター）

送迎事業が順調に推移している。

<石油>

元売の仕切価格が、ほぼ不変にもかかわらず小売価格は下落傾向にある。全体需要が減少しており価格競争に拍車がかかっていると思われる。特に都市部においては採算割れともとらえられる価格も散見されており、厳しい経営状況となっている。

<青果>

前年とはうってかわり、晴天が続く中雨量が少ない結果、野菜の生育が遅れるといった状況が後半から続き6月にも影響が出るかとみている。前半においては大河ドラマの影響により連休中は多くの観光客があり、外食産業への納入業者は取扱が増加したが、小売店は量販店の影響で伸びず経営も厳しい状況である。販売価格も量販店独特のPB商品や大量仕入れによる低単価販売に小売店も圧迫されている。

<電機>

暑さに向けエアコンの動きが良くなっている。これから各地で合同展示会があり少し上向き傾向にある。創エネ、省エネに関し少し消費者の関心が高まり、太陽光などにも動きが出てきました。

サービス業

<旅館業>
(土湯温泉)

5月連休はほぼ満室となり、震災前のにぎわいを取り戻した感があった。ただ国道115号線には、県外からの観光バスが見当たらず、道の駅つちゆなどは、前年同月の実績を維持するのがやっとであった。6月の東北六魂祭での風評被害払拭を期待している。

<理容業>

月始めは肌寒い日が続き、客足は鈍かったが、中盤からは暖かい日が続き忙しかった。特に後半は夏日になるなど暑かったので夏向きのヘアースタイルにするお客様が増えた。クールビズヘアースタイルを積極的に進め快適な生活支援のお手伝いができればと思っています。組合加盟店は冷シャワーや夏向きの爽やかなヘアースタイルを準備しご来店をお待ちしております。

<廃棄物収集運搬業>

25年度の総会が終わり、前年売上は前々年度より若干下回ったものの従来の売上の倍となりました。次年度の売上予定も同様となる予定です。短期的に見ては良いと思いますが5年、10年先を見ての手の打ち方を検討する必要があると思います。

商店街

<福島市>

大型連休があると観光地への遠出が多く、街中への人出は少なく連休後の消費行動も引き締められるためか、弱い。今月も低調が続いている。

<郡山市>

5月25日は中央商店街の一大イベント「まちなか子ども夢伝」が、天候にも恵まれて盛況の内終わりました。この日の商店街は、子どもたちとその保護者たちが溢れて大きく賑わいましたが、その日以外は静かな日々が続きました。いつもは賑わう「うすい百貨店」の北海道物産展が27日から始まりましたが、告知不足のせいか静かな出だしのようです。組合の総会が終わり新たに若い人たちが役員に増えたので、今後新しい若い発想で活性化していければと期待します。

<南相馬市>

地域商業活性化事業の採択、決定を受けて、6月よりコミュニティ復興事業と商店街スタンプ事業を実施します。期間は11月までの半年間です。少しでも原発事故の放射能による影響を緩和することにつとめ、賑わいをつくっていきたくと考えています。

<会津若松市>

ゴールデンウィークは「八重の桜」の効果で観光地はずいぶん人出でした。市内も交通渋滞がひどかった。商店街の活気はあまりなかった。観光面では潤ったと思うのでその流れが市内全体に行き渡るようになるとういと思う。

<いわき市>

5月は比較的好天に恵まれたために、ゴールデンウィーク後から前年を確保できている様子。ゴールデンウィークは街中を歩かれる方は少なかったが、母の日が近付くとお買いもの、お食事で歩かれる方が多くなったようだ。“暑くもなく寒くもなく”商店街には絶好の条件だったが前年を伸ばしている店も多く“まあまあ”という結果であろう。飲食店は相変わらず好調のようである。

運輸業

<トラック運送>
(県北地区)

“アベノミクス”と称して政財界から歓迎され、実利を受けているが、結局構造的に強い立場、弱い立場では180度の違いが生じ、格差が拡大している。トラック運送業界は、燃料費負担、高速料金が高値水準で推移している中、需要の減少や熾烈な競争、運賃の低迷が続き、加えて電力料金の高騰、金利の高騰、安全。環境へのコスト負担増等厳しい環境におかれて“アベノリスク”をもろに受けている。業界の健全な経営維持を保障するため、適正な運賃、適正な燃料価格及び高速料金の負担減の対策を講じてほしい。

(県中地区)

あいかわらず人手不足が続いています。

<ハイヤータクシー>

5月は例年のことながら低調である。さらに毎年、前年を下回り厳しい状況である。乗務員の不足も深刻で減少の大きな要因とみられる。

卸売業

<卸売業>
(県中地区)

震災以降好調であった建築資材も、ここきてやや陰りが見え始めている。年度変わりの需要の調整という側面もあるが、一時の勢いはない。7月ぐらいから徐々に回復に向かうとの見方も一部にはあるが人出不足感も依然として強く、仕事のばらつきへの対応を難しくしている。事務関係も、震災以降好調であったが、施設が復旧するにつれ減退している。今後はオフィスの多様化やニーズの変化に合わせて事務システムのトータル提案で売上の拡大を目指す。

<再生資源>

アベノミクスにより好況の業界もあるかと思われませんが、我々の業界には少しも恩恵はありません。根本的に福島から放射能を完全に無くしてもらえない限り、この苦しみは決して拭い去ることはありません。(30年か50年か)いつもこれを書くたびに思い起こします。原子爆弾を発見、発明したある科学者が死ぬ間際にこういったそうです。「私は神に対しても人類に対しても、このような罪悪を起こしたことを悔みます」といって死んだそうです。だんだんじり貧です。浜通りから原発をなくしてください!

建設業

<建設業>
(県一円)

平成25年度県の予算も確定したことから、6月以降、土木の通常工事及び復興再生工事の発注増が予測される。また、建築では、災害復興住宅の発注などが増えることが予測される。

(県南地区)

震災復旧の土木工事は、前年度でほぼ完了しており減少している。建築工事は住宅・工事増設などが増加している。住宅除染の発注が大規模に発注されているが、作業員が不足している。

<管工事>

給水・排水設備申請は前月比で増加。前年同月比では、給水・排水設備申請とも減少している。

<専門工事>

当組合の総会が開催され、適正な受注価格確保への意識が強められたと感じる。日本経済のみならず、為替や株価は不安定な状態にあり、原材料費や燃料代等の供給に対する不安定要素も顕在化している。十分な対応を心掛ける必要があるだろう。気候的には寒暖の差が激しいので、新規入場者教育等、意識付けを図り、安全確保に心がける必要があると思われる。

景況天気図 5月

天気図の見方

各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は右表のとおりである。

D・I値基準値

☀ 快晴	30以上	☁ 曇り	-30~-10未満
☀ 晴	10~30未満	☔ 雨	-50~-30未満
☁ うす曇り	-10~-10未満	🌧 大雨	-50未満

項目別DI業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食品製造	☁ 0.00	☁ -14.29	☁ -14.29	☁ -14.29	☁ 0.00	☁ -42.86	☀ -14.29	☀ -14.29	☁ 0.00	☀ 14.29	☁ -14.29	☁ -42.86
繊維製品製造	☀ 33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -33.33	☁ -33.33	☁ -33.33	☁ 0.00	☁ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00
木材製品製造	☀ 50.00	☀ 75.00	☀ 25.00	☀ 75.00	☁ -25.00	☀ 25.00	☁ 0.00	☀ 50.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 50.00	☀ 75.00
鉄工機械製造	☁ -20.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -20.00	☁ -20.00	☁ 0.00	☁ -20.00	☁ 0.00	☁ -20.00	☁ 0.00	☁ 0.00
その他の製造	☁ -42.86	☀ 14.29	☁ 0.00	☀ 14.29	☁ 0.00	☀ 14.29	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -14.29	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 14.29
卸売業	☁ 0.00	☁ -75.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ -75.00	☁ -75.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -75.00	☁ -75.00
小売業	☁ 0.00	☁ -22.22	☁ -22.22	☁ -11.11	☁ -33.33	☁ -11.11	☁ 0.00	☁ -11.11	☁ -11.11	☁ -11.11	☁ -44.44	☁ -33.33
商店街	☁ 0.00	☁ -50.00	☁ -33.33	☁ -33.33	☁ -50.00	☁ -50.00	☁ -16.67	☁ -50.00	☁ -16.67	☁ -16.67	☁ -33.33	☁ -33.33
サービス業	☀ 42.86	☀ 57.14	☀ 14.29	☀ 14.29	☁ 0.00	☀ 42.86	☁ 0.00	☀ 14.29	☀ 28.57	☀ 42.86	☀ 14.29	☀ 57.14
建設業	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 20.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 60.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 20.00	☁ 0.00	☀ 40.00
運輸業	☁ -100.00	☁ -66.67	☁ 0.00	☁ -33.33	☁ -66.67	☁ -100.00	☁ -66.67	☁ -100.00	☁ 0.00	☁ -66.67	☁ -66.67	☁ -100.00

地域中小企業の人材確保・定着支援事業

~ Information ~

インターンシップ受入の企業を募集しております。

当会では、学生等が地元企業での短期間のインターンシップを実施するために、インターンシップを受け入れていただく企業を募集しております。

この事業は、学生等が県内の中小企業で就業の体験を通して、自らの適正や中小企業への魅力について理解を深めるとともに、就業に対する意識や関心を高めることを目的としています。

また、企業におかれましても、学生等をインターンシップで受け入れることにより、自社のPR及び優秀な人材の確保につながっていきます。

ぜひ、このインターンシップの受け入れについて、ご検討をお願いいたします。

なお、ご登録につきましては、申込用紙が当会のホームページに掲載しておりますので、ダウンロードしてご使用下さい。

本事業によるホームページの開設をいたします。

本事業として、平成25年7月1日にホームページを開設いたします。

県内の大学等教育機関、行政機関等と連携して、学生等に対し中小企業・小規模事業者の情報や魅力を発信していくとともに、県内中小企業の皆様には、合同ガイダンス、インターンシップ受け入れ企業への募集のお願い、各種のセミナー等のご案内をしていきます。

- 地域中小企業の人材確保・定着支援事業に関するお問い合わせ先
- 中央企画情報課 【TEL 024-536-1268】
- 中央会ホームページ <http://www.chuokai-fukushima.or.jp>